



モニター・機器に頼らない 脳卒中患者のアセスメントと離床の極意

講座コード R-228

～危険なサインを敏感に察知する究極のワザ～

日時：2026年6月7日(日) 10:00～16:00

会場：インターネット生ライブ中継 **見逃し受講期間2週間あり**

講師：實 結樹 先生 (Reha fit) 田中 将司 先生 (札幌麻生脳神経外科病院)

対象：PT・OT・ST・看護師 (左記以外も受講可) ※先着順・定員になり次第締切り

受講料：会員 9,800円 (税込)

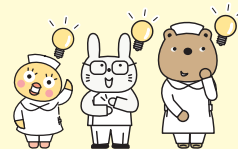
一般 12,800円 (税込)

今、会員に
なると

年会費 4,900円が無料
実質 7,900円 割引



難易度 ★★★★★



急性期を過ぎたら、安全・安定って思っていますか？

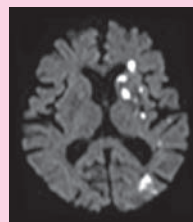
モニター・機器が少ない一般病棟や回復期・在宅は安心。と油断していませんか？実はその考えは間違い。パラメータが限られている中での状態把握が必要となるため、より高いアセスメント力が求められます。この講座では、脳卒中のエキスパートが、フィジカルアセスメントやバイタルサイン、最低限の検査データなど限られた情報で安全な離床につなげるアセスメントの極意を伝授。その上で、長期的麻痺・認知機能の回復を目指すアプローチや、動作分析、ADLアップの具体策など実践を習得できます。

一般病棟・在宅で活かす！

リスクを見逃さず回復を導く身体・認知・精神アプローチの極意

Lesson1 長期的回復を見据えた身体機能アプローチのコツと 負荷をかけ過ぎないリスク管理術

- 半年過ぎたら麻痺が良くならないは本当!?
エビデンスから紐解く長期アプローチの効果と予後予測
- 運動負荷はどこまでかけていいの?
これ以上負荷をかけてはいけない危険ラインの見極め術
- 運動麻痺、動作障害から予測する脳画像所見判読トレーニング
- 慢性期における降圧を深掘り
～脳卒中慢性期における血圧のベストレート～
- 難しい装置は不要!片麻痺患者さんのADL を改善する動作分析のしかた
～上肢・下肢・体幹 ポイントでみる観察法～
- 退院前にこのアプローチは必須!
在宅で実際に困った動作・ADL5選



Lesson2 回復は急性期以降が勝負! 認知・精神機能障害の悪化を回避して攻めるアプローチ実践

- 認知機能は長期的に回復するって本当!?
高次脳機能障害の予後とエビデンス
- 注意障害・記憶障害・半側空間無視・遂行機能障害
認知機能障害アセスメントで本当に使える評価法はこれだ!
- 高次脳機能障害から予測!最低限のポイントで読む脳画像所見トレーニング
- 注意障害? 遂行機能障害? 認知障害による生活の危険を回避する対策集
- 急性期以降の回復を加速!ベテランが実践する認知アプローチ
～エラーレスラーニング・外的・内的ストラテジーの実践～
- 退院後の離床・活動を阻害する精神障害のみかたと対策
～脳卒中後疲労 (PSF)・サイトカインカクテル療法・rTMS～



※この講座は離床アドバイザー取得コースの理論 1 単位・学会認定資格更新 10 ポイントを取得することができます。

申込方法

お問い合わせ・お申込先

① ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

臨床を元気に! 日本離床学会

